



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月9日

上場会社名 森尾電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6647 URL <http://www.morio.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 木下 寛 (TEL) 03-3691-3181
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	4,037	13.2	95	105.5	100	129.6	61	101.3
2018年3月期第2四半期	3,565	15.2	46	△2.8	43	13.8	30	94.2

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 217百万円(139.1%) 2018年3月期第2四半期 91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	44.96	—
2018年3月期第2四半期	22.33	—

(注) 当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	9,718	3,963	40.8
2018年3月期	9,189	3,800	41.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 3,963百万円 2018年3月期 3,800百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,090	△4.8	280	△3.4	270	△4.1	180	△14.3	130.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	1,425,000株	2018年3月期	1,425,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	49,542株	2018年3月期	49,542株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	1,375,458株	2018年3月期2Q	1,375,535株

※当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢、所得水準に改善が見られ、個人消費も穏やかな回復基調にあります。一方、引き続き米国の政策動向等による日本経済への影響などの不確実性が高まっており先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは積極的な営業活動を展開しました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は40億37百万円（前年同四半期比4億72百万円、13.2%増）となり、受注高は45億72百万円（前年同四半期比54百万円、1.2%増）となりました。

[電気機器製造販売事業]

電気機器製造販売事業の売上高は39億64百万円（前年同四半期比4億74百万円、13.6%増）となり、受注高は45億72百万円（前年同四半期比54百万円、1.2%増）となりました。

主力の鉄道関連事業につきましては、主に国内通勤近郊電車等の車両需要向けを中心に受注活動を展開した結果、売上高は34億43百万円（前年同四半期比6億5百万円、21.3%増）となり、受注高は30億63百万円（前年同四半期比34百万円、1.1%増）となりました。

自動車関連事業につきましては、各高速道路会社等に対し車載標識車を中心とする受注活動を展開しましたが、売上高は4億53百万円（前年同四半期比1億55百万円、25.6%減）となり、受注高は13億50百万円（前年同四半期比80百万円、5.7%減）となりました。

船舶等関連事業につきましては、防衛省関連等への出荷を中心に受注活動を展開した結果、売上高は67百万円（前年同四半期比25百万円、60.6%増）となり、受注高は1億59百万円（前年同四半期比1億1百万円、175.2%増）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、各賃貸マンションが堅調な売上进行を維持しており、売上高は72百万円（前年同四半期比2百万円、3.6%減）となりました。

利益につきましては、製造コストの削減及び固定費削減等に努め、当第2四半期連結累計期間の営業利益は95百万円（前年同四半期比48百万円、105.5%増）、経常利益は1億円（前年同四半期比56百万円、129.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同四半期比31百万円、101.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、60億79百万円となりました。これは、主としてたな卸資産が7億8百万円増加し、受取手形及び売掛金が2億23百万円、現金及び預金が1億10百万円減少したこと等によります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、36億39百万円となりました。これは、主として投資有価証券が2億4百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、97億18百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、43億69百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が54百万円増加し、短期借入金が3億59百万円増加したこと等によります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、13億85百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が66百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、57億55百万円となりました。

(純資産)

株主資本は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、32億45百万円となりました。これは、主として利益剰余金が6百万円増加したこと等によります。

その他の包括利益累計額合計は、前連結会計年度末に比べて27.7%増加し、7億18百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が1億41百万円増加したこと等によります。

この結果、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、39億63百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1億10百万円減少し、7億64百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3億8百万円（前年同四半期は1億2百万円の獲得）となりました。

この主な要因は、収入については売上債権の減少額2億28百万円、減価償却費1億38百万円、仕入債務の増加額48百万円であり、支出についてはたな卸資産の増加額6億91百万円、法人税等の支払額61百万円等により、キャッシュ・フローが減少したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は86百万円（前年同四半期は28百万円の使用）となりました。

この主な要因は、支出について無形固定資産の取得による支出72百万円等により、キャッシュ・フローが減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2億80百万円（前年同四半期は1億81百万円の使用）となりました。

この主な要因は、収入については短期借入金の増加額が3億39百万円、長期借入れによる収入が1億円、支出については、長期借入金の返済による支出が87百万円、配当金の支払額が54百万円等により、キャッシュ・フローが増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,114,517	1,004,478
受取手形及び売掛金	2,627,463	2,403,801
商品及び製品	42,060	164,071
仕掛品	1,416,578	2,009,157
原材料及び貯蔵品	457,541	451,809
その他	48,540	46,337
流動資産合計	5,706,701	6,079,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,875,263	2,887,915
減価償却累計額	△1,353,647	△1,392,096
建物及び構築物(純額)	1,521,615	1,495,819
土地	63,665	63,720
その他	630,302	641,290
減価償却累計額	△425,698	△455,939
その他(純額)	204,604	185,351
有形固定資産合計	1,789,885	1,744,891
無形固定資産	376,751	374,637
投資その他の資産		
投資有価証券	1,252,026	1,456,724
その他	63,648	62,900
投資その他の資産合計	1,315,674	1,519,625
固定資産合計	3,482,312	3,639,154
資産合計	9,189,013	9,718,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,126,499	2,180,959
短期借入金	1,374,324	1,733,721
未払法人税等	72,125	38,093
賞与引当金	151,000	144,000
役員賞与引当金	22,000	-
その他	297,717	272,712
流動負債合計	4,043,666	4,369,485
固定負債		
長期借入金	817,576	818,037
繰延税金負債	185,022	251,735
その他	341,786	315,745
固定負債合計	1,344,384	1,385,518
負債合計	5,388,051	5,755,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,500	1,048,500
資本剰余金	897,272	897,272
利益剰余金	1,363,088	1,369,915
自己株式	△70,467	△70,469
株主資本合計	3,238,394	3,245,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564,116	705,404
為替換算調整勘定	△1,547	13,183
その他の包括利益累計額合計	562,568	718,588
純資産合計	3,800,962	3,963,807
負債純資産合計	9,189,013	9,718,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	3,565,323	4,037,587
売上原価	3,023,419	3,394,379
売上総利益	541,903	643,208
販売費及び一般管理費	495,508	547,856
営業利益	46,394	95,351
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	7,252	7,903
受取補償金	800	1,844
為替差益	-	7,198
雑収入	5,121	4,571
営業外収益合計	13,197	21,541
営業外費用		
支払利息	14,276	15,394
為替差損	1,303	-
雑損失	80	617
営業外費用合計	15,659	16,012
経常利益	43,933	100,880
特別利益		
固定資産売却益	3,486	-
特別利益合計	3,486	-
特別損失		
固定資産除却損	7,185	8,149
特別損失合計	7,185	8,149
税金等調整前四半期純利益	40,233	92,730
法人税、住民税及び事業税	4,008	27,023
法人税等調整額	5,508	3,862
法人税等合計	9,516	30,885
四半期純利益	30,717	61,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,717	61,845

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	30,717	61,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,439	141,287
為替換算調整勘定	968	14,731
その他の包括利益合計	60,408	156,019
四半期包括利益	91,125	217,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,125	217,864
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,233	92,730
減価償却費	118,649	138,731
受取利息及び受取配当金	△7,276	△7,927
支払利息	14,276	15,394
売上債権の増減額(△は増加)	△53,438	228,225
たな卸資産の増減額(△は増加)	△302,847	△691,705
仕入債務の増減額(△は減少)	376,626	48,942
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△7,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,000	△22,000
固定資産除売却損益(△は益)	3,699	8,149
その他の営業外損益(△は益)	△275	△212
未収消費税等の増減額(△は増加)	8,537	13,898
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△325	△10,111
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,943	△46,388
その他	1,333	863
小計	184,137	△238,407
利息及び配当金の受取額	7,276	7,927
利息の支払額	△15,542	△16,464
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△73,325	△61,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,545	△308,855
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△240,000	△240,000
定期預金の払戻による収入	240,000	240,000
有形固定資産の取得による支出	△22,682	△8,524
有形固定資産の売却による収入	5,249	-
無形固定資産の取得による支出	△3,267	△72,191
有形固定資産の除却による支出	-	△2,500
投資有価証券の取得による支出	-	△181
預り保証金の返還による支出	-	△2,385
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△7,958	△569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,658	△86,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△305,645	339,920
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△90,797	△87,567
リース債務の返済による支出	△39,553	△39,940
セール・アンド・リースバックによる収入	295,629	22,683
自己株式の取得による支出	△82	△1
配当金の支払額	△41,018	△54,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,466	280,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	622	4,687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△106,956	△110,039
現金及び現金同等物の期首残高	725,210	874,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	618,253	764,478

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	電気機器 製造販売事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	3,489,892	75,430	3,565,323	—	3,565,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,489,892	75,430	3,565,323	—	3,565,323
セグメント利益	74,494	41,574	116,068	△69,673	46,394

(注) 1. セグメント利益の調整額△69,673千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,673千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	電気機器 製造販売事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	3,964,881	72,706	4,037,587	—	4,037,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,964,881	72,706	4,037,587	—	4,037,587
セグメント利益	134,829	39,246	174,076	△78,724	95,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,724千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,724千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。